

Mizuho Daily Market Report

2023/10/9

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.89	149.32	+0.81	▲0.05
EUR	1.0550	1.0586	+0.0036	+0.0013
AUD	0.6367	0.6386	+0.0016	▲0.0049
SGD	1.3669	1.3651	▲0.0019	▲0.0011
CNY	7.2983	7.2980	+0.0000	+0.0000
MYR	4.7151	4.7142	▲0.0135	+0.0189
THB	36.98	37.02	+0.10	+0.61
IDR	15613	15610	▲5	+155
PHP	56.63	56.63	▲0.05	+0.03
INR	83.24	83.25	▲0.01	+0.21
VND	24390	24389	▲11	+84

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.801%	+8.2 bp	+23.0 bp
日本(10年)	0.805%	▲0.7 bp	+4.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.884%	+0.6 bp	+4.5 bp
オーストラリア(5年)	4.114%	▲3.2 bp	▲3.0 bp
シンガポール(5年)	3.386%	▲0.5 bp	+4.7 bp
中国(5年)	2.525%	+0.0 bp	+0.0 bp
マレーシア(5年)	3.817%	▲2.2 bp	+9.4 bp
タイ(5年)	2.909%	+1.2 bp	+1.9 bp
インドネシア(5年)	6.794%	▲6.0 bp	+22.6 bp
フィリピン(5年)	6.225%	▲2.1 bp	+4.5 bp
インド(5年)	7.399%	+14.9 bp	+17.1 bp
ベトナム(5年)	2.000%	+20.0 bp	+20.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,407.58	+0.9%	▲0.3%
N225(日本)	30,994.67	▲0.3%	▲2.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,144.43	+1.1%	▲0.7%
ASX(オーストラリア)	4,055.73	+0.6%	▲1.7%
FTSTI(シンガポール)	3,174.39	+0.6%	▲1.3%
SSEC(中国)	3,110.48	+0.0%	+0.0%
KLSE(マレーシア)	65,995.63	+0.6%	+0.3%
SETI(タイ)	6,888.52	+0.2%	▲0.7%
JKSE(インドネシア)	1,416.88	+0.1%	▲0.5%
PSE(フィリピン)	6,259.95	+1.3%	▲1.0%
SENSEX(インド)	1,438.45	▲1.0%	▲2.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,128.54	+1.3%	▲2.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	276.90	+0.8%	▲2.7%
金	1,833.01	+0.7%	▲0.8%
原油(WTI)	82.79	+0.6%	▲8.8%
銅	7,971.25	+1.9%	▲2.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	148.40	—	151.30
EUR/USD	1.0490	—	1.0600
AUD/USD	0.6240	—	0.6400
USD/SGD	1.3620	—	1.3770
USD/CNY	7.2960	—	7.3280
USD/MYR	4.7050	—	4.7350
USD/THB	36.75	—	37.85
USD/IDR	15560	—	15890
USD/PHP	56.20	—	56.90
USD/INR	82.90	—	83.35
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台半ばでオープン。東京仲値通過後に小緩んだもののすぐに下げ止まり、その後は確りとした推移。鈴木財務相の為替介入に関するコメントが報道されたが市場への影響は限定的であり、ドル円はじり高に推移し148円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に小幅に上昇。米金利が低下基調で推移しドル売りの流れとなったが、米9月雇用統計の発表を前に様子見ムードも強く値幅は限定的となった。

海外市場のドル円は149円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された注目の米9月非農業部門雇用者数が予想を大幅に上回り、米労働市場が依然緊迫しているとの思惑から、ドル買いが強まり、一時149円台半ばまで上伸。しかし、その後は米金利が伸び悩んだことが重しとなり、ドル売りに転じ149円台前半まで反落。NY午後には米国も連休を控え、積極的な取引が手控えられる中、狭いレンジ内での値動きが続き、149円台前半でクロス。

【金利】

金利市場は米9月雇用統計の結果を受けて大幅上昇。金利カーブはややスティーブ化した。市場注目の9月雇用統計の結果は、非農業部門雇用者数変化及び、民間部門雇用者数変化で予想、前回比いずれも上回る強い数字となった。失業率は前回から変わらず、平均時給は前年比でやや減速したものの、労働参加率、週平均労働時間等は前回から変わらず、全体的には雇用市場の底堅さを示すものとなった。FRBが雇用環境を注視していることから、発表後、追加利上げの観測が強まり、金利は急上昇。10年債利回りは、一時4.88%半ばまでつけた。NY午後にかけては買い戻しが入り、一旦は発表前夜戻したが、引けにかけては再度売り優勢となった。

【予想】

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。注目された米9月雇用統計の結果は非農業部門雇用者数が市場予想を大きく上回る強い結果となった。賃金の伸びが鈍化したこともあってか発表直後に強まった米金利上昇、ドル買いの流れはすぐに反転したものの、年内の追加利上げ観測は引き続き残る中、引き続き下落局面では相応の押し目買い意欲が見られやすい展開を予想する。

【本日の予定】

(日本) 9月 工作機械受注(速)
(アジア) 3Q シンガポール GDP
(アジア) 9月 インドネシア 消費者信頼感指数
(アジア) 9月 タイ 消費者景気信頼感
(アジア) 9月 中国 資金調達総額 / 新規人民元建て融資
(アジア) 9月 豪 外貨準備高
(欧州) 10月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感
(欧州) 8月 独 鋳工業生産
(欧州) IMF・世銀年次総会(モロコシマラケシュ)
(欧州) ノーベル経済学賞発表
(欧州) 独 国債入札(6M)
(米国) ジェファーソンFRB副議長講演
(米国) ロガン・ダラス連銀総裁講演
(米国) 休場